

本時のねらい

相手にわかりやすく伝えるために、よく聞こえる声で、聞き手の顔を見て話すことの大切さを知る。

指導の手立て

- ① 話し方の例を3つ（A、B、C）提示し、わかりやすい話し方について考えさせる。
- ② 話し方の学習を活用し、グループで話す練習をすることで、わかりやすい話し方を身に付けさせる。

主な学習活動	主な指導・支援
1 前時の振り返りをし、本時のめあてを確認する。 ○「昨日はみんなで発表の原稿を作ったね。今日は、友だちにわかりやすく話す勉強をして、話し方名人になろう！」 2 iPad教材で、話し方の例C、B、Aを提示し、分かりやすい話し方について考えさせる。 ① 話し方の例1を視聴し、思ったことをワークシートに書く。 ② 思ったことを発表し合う。 ③ 話し方の例2を視聴して振り返る。 ※C、B、Aの順に例を視聴し、①～③を繰り返す。 3 発表練習をしよう ・ペアで発表し合う。 ・グループで発表し合う。 話し方で学習したことに気をつけさせながら、よく聞こえる声で、聞き手を見て話させる。 4 本時の振り返りと次時の予告をする。 ○「話すときに大事なことを、2つわかったかな？」 ○「明日はいよいよ発表会です。みんなの絵を、画面に映してやるよ！」	板書： 発表原こうをつくろう ↓ 話し方名人になろう ↓ 発表会 ・ワークシート「話し方名人になろう」 ・iPad教材 つくったプレゼンテーション「話し方」 ・視聴時に注目させたいポイント C 下を向いて、小さな声で話していてわかりにくい。 B よく聞こえる声だが、下を向いている。 A よく聞こえる声で、聞き手の顔を見て話している。 ◆わかりやすい話し方について考えようとしている。 ◆よく聞こえる声で、聞き手を見て話すことができる。

単元計画

- ・夏休みに川について調べよう【課題設定】
 - ・夏休みに発見したことをカードに書こう。【情報収集】
 - ・発表原こうをつくろう【整理】
 - ・話し方名人になろう【表現】（本時）
 - ・発表会をしよう【表現】
- ↓
- ・ヒザ川で見つけないものや調べたいことを考えよう。

【課題設定】